

報道機関対応



研修のねらい

県職員・市町村職員の管理職にあつては、報道機関に対して適切な説明責任を果たすことが求められます。本研修では報道機関と接する際の基本的な姿勢を理解するとともに、会見や取材等での報道機関に対する対応の方法などを理論的かつ体験的に学びます。

受講対象者

県職員： 30人・各回15人

令和8年4月1日現在、主幹級及び副課長級の職に昇任後1年以上経過している職員（受講を希望する課長級職員を含む）

市町村職員： 30人・各回15人

課長補佐級以上の職員

開催日時

- | | |
|-----------|------------|
| ①7/23(木) | 9:00~16:30 |
| ②11/17(火) | |

備考

研修概要

- トークレスキューNEXT
- ・広報PRを知る
 - ・取材者視点を知る
 - ・プレスリリース原案作成ワーク
 - ・マスコミ対応を知る
 - ・緊急記者会見を知る
 - ・模擬記者会見
- 代表 高木 圭二郎

こんな人におすすめ

- ・広報担当で報道機関と接する機会が多い人
- ・問題発生時に適切な対応をしたいと考えている人

得られるスキル

- ・発信力（情報を適切に発信する）
- ・交渉力（報道機関との適切な対応を学ぶ）

受講者の声/担当者PR

- ・現在の職務に照らして、広報や謝罪会見など十分の想定しうる中で、参考になった。所属で共有したい。特に謝罪会見のロールプレイは、実際の様子を再現しており、実際にやることになった場合に自信になると感じた。
- ・実際に記者を経験された事によるマスコミ側の視点や見識がとても参考となった。
- ・通常の情報発信から不祥事発生等の緊急時まで幅広い対応を学ぶことのできる研修です。報道機関で長年にわたって活躍していた講師の講義は受講者からも好評です！（担当者）